

第4表 かながきの例

可	不	可	不	可	不
あいまって	相俟って	くふう	工夫	(する)とき	(する)時
あえて	敢て	…くらい	位	どこ	何処
あたかも	恰も	ぐあい	具合, 工合	どの, どれ	何の
あと	後	ここ	此事, 茲, 爰	…ところ	所, 処
あまりに	余りに	…こと	事	…とても	迎も
当たる, 当てる	当る, 充る	ことさら	殊更	とりあえず	取敢えず
あらかじめ	予め	ことに	殊に	ともに	共に
あらゆる	凡, 縷, 凡有	この, これ	此, 是, 之	ないし	乃至
ある	在る, 有る	ころ	頃	なお	尚, 猶
あるいは	或は	ごとく	如く	なかなか	仲々, 却々
あわせて	併せて	ごとに	毎に	ながら	乍ら
…(と)いう	…(と)言う, … (と)云う	ささえる	支える	なぜ	何故
いかん, いかなる	如何(なる), (に)	さしあたり	差当り	など, ら	等, 杯
いかに	…(して)行く	さしつかえ	差支	ならびに	並に
…(して)いく, ゆく	…(して)行く	さっそう	早速	なるべく	成可
いくぶん	幾分	さほど	左程	なるほど	成程
いずれ	何れ, 孰れ, いづれ	さまざま	様々	(し)にくい	…(し)難い
いたずらに	徒に	しいて	強いて	はいる	入る
…(して)いただく	…(して)頂く, 戴く	しかしながら	併し, 然し	はなはだ	甚だ
いたって……	至つて	しかも	然乍, 而も	ばかり	許り, 計
いちいち	一々	しきりに	頻りに	ひいて	延いて, 惹いて
いちばん	一番	したがって	従つて	ひととおり	一通り
いつ	何時	しだいに	次第に	ページ	頁
いっさい	一切	しばしば	屢々, 屢次	ほう(の), (する)	方(の), (する)
いっしょに	一諸に	しばらく	暫く	ほう	方
いっせいに	一齊に	じまう	了, 終, 仕舞う	ほかに	外に, 他に
いっそう	一層	じきに	直に	ほとんど	殆んど
いったい	一体	十分に	充分に	ほど	程
いったん	一旦	…(し)すぎる	…(し)過ぎる	ほぼ	略々
いっばいに	一杯に	すこぶる	頗る	まことに	誠に
いっぺんに	一偏に	すなわち	即ち, 則, 乃	まして	況して
いまだ, まだ	未だ	すばやい	素早い	ますます	益々
いよいよ	愈々	すべて	凡, 縷, 全	またがい	又, 亦, 復
…(して)いる, おる	居る	すみやかに	速やかに	まちがい	間違
いろいろの	色々の	する	為	まだ	迄
いわゆる	所謂	ずいぶん	随分	まます	假
…(の)うち	…(の)中	ずつ	宛	みなす	看做す
…(し)うる	…(し)得る	ぜひ	是非	むしろ	寧ろ
うんぬん	云々	そこ	其処	むずかしい, むつ	六ヶ敷い
おいて	云て	その, それ	其, 夫	かしい	明瞭
おおむね	概ね	それぞれ	夫々	明りよう	若し
おおよそ	大凡, 大約	…(し)たい	…(し)度い	もたらす	齎す
…(して)おく	…(して)置く	たいせつ	大切	もろろん	勿論
おそい	遅い	たいてい	大抵	もつて	有つて
おそらく	恐らく	たいへん	大抵	もつたら	以つて
おのおの	各々	たくさん	沢山	もつばら	専ら
おのずから	自ら	ただ	唯, 只, 箇, 惟	もとより	下に, 許に
おもな	主な	ただし	但し	もはや	元, 素, 固より
おもむろに	徐に	たちまば	忽ち	…(し)やすい	最早
および	及び	たまたま	例え	やっかい	…(し)易い
…(した)おり, …	…(した), (の)	ため	偶々, 会々	やはり	厄介
(の)おり	折	だいたい	為	やむをえず	矢張り
かえて	却て	だぶん	大体	やや	不得已, 止
かかる, かくして	斯る, 斯して	だけ	大分	ややもすれば	稍
かかわらず	拘らず	だれ	丈	ゆえに	動もすれば
かたい	硬い	だんだん	誰々	ゆえん	故に
かつ	且	ちなみに	因みに	よい	所以
かつこう	恰好	ちょうど	度寸, 恰度	ようす	好い, 良
かつて	曾て, 嘗て	ちよっと	一度, 恰渡	ように	様子, 容子
かつてに	勝手に	ついて	就て, 付いて	ようやく	様々に
かなり	可成	ついで	序	よく	漸く
かねがね	兼々	ついに	遂に	よほど	克く, 能く
かねて	構わ	つもり	積り, 心算	よって, よる	余程
かまわない	構わない	ていねい	丁寧	より	依, 由, 因, 拠
かりに	仮に	とうてい	到底	りっぱ	立派
かわく	乾く	…(の)とおり	…(の)通り	わかる	分, 判, 解る
きたす	乾す	とかく, とにかく	兎角	わが	我が, 吾が
きわめて	極めて	とき(の)	時(の)	わがわが	態々
				わたて	亘つて, 渡つて